

人権コラム 心、豊かに

◆ 知っていますか？「インクルージョン」

人種・年齢・性別・能力・価値観など、様々な違いを持った人々が組織や社会において共存している状態を示し、多様性を意味する「ダイバーシティ」。国際的にも重要視されている概念であり、この言葉を耳にする機会が増えています。

そして、人権を尊重する観点からも重要なこのダイバーシティと合わせて覚えておきたいのが「インクルージョン」です。インクルージョンとは、包括的や受容性を意味し、どのような属性（個性）の人でも「参加し、機会を得られる」ことを示しています。

国際社会では、ダイバーシティで受け入れられた多様性を持つ人たちが、インクルージョンによってその個性をどのように生かすのか、又はその個性を生かすためにどのような体制や制度を導入するのか、ということが重要視されています。

例えば、障がいのある人を雇用しようとした場合、そのまま雇用するのではなく、その人の能力やスキルを生かすためにどのような配慮が必要で、どこまで対応できるのかといったことを検討したり、当事者とすり合わせたりすることがインクルージョンの考え方です。

このインクルージョンに沿った柔軟な対応が必要とされているのは、雇用の場だけではなく、性的マイノリティや外国の人たち、子育てや家族の介護をしている人など、周囲の人の理解や支援を得られず、困難を抱えている人が身を置く、学校や地域社会といったありとあらゆる場面が当てはまります。

ダイバーシティもインクルージョンもともに他者の特性を受け入れ、尊重することが根幹となっています。受け入れておしまいにするのではなく、そこから一歩進み、適切な配慮や支援が受けられるようになれば、全ての人が活躍できる本当の共生社会が実現できるのではないのでしょうか。